

Ⅲ. 会員紹介

会員総数 58 名について、顔写真とプロフィールの一端を紹介し、あわせて会員のエッセイを掲載した。

紹介欄の説明

会員番号		氏名（ふりがな）
① 入会年月	⑤ 現役時代の主な経歴	
② 生年月日（西暦）	⑥ 座右の銘	
③ 出身地	⑥ 趣味	
④ 住所（市町名のみ）	⑧ プロバスだよりへの投稿 掲載号数とテーマ	
会員各自の書いたエッセイ (500 文字以内)		



会員番号 9 大野 幸二 (おおの こうじ)

- | | |
|------------|----------------------|
| ① 1995年10月 | ⑤ 教育出版(株) |
| ② 1934年 | ⑥ 継続は力なり |
| ③ 埼玉県 | ⑦ ジョギング、スイミング、ダンス、園芸 |
| ④ 八王子市元横山町 | ⑧ |

残り少ない人生を大いに楽しもう

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総てのイベントが中止され困った状況です。また例年と違い、猛暑が続き負けてたまるかと思っても体力が落ちてしまい困っています。

朝5時に目覚ましで起き洗顔し、近くを流れる浅川の堤防を散歩し軽く体操をして家に帰り、テレビを見ながらゆっくり食事する毎日です。

妻の照子が2年前に、東海大学八王子病院で膵臓癌の手術をしたが、お陰さまで今はすっかり元気になり、主婦業も総て出来るようになり安堵しています。私はメモを手に買い物するくらいです。6月に近くのプールが再開されたので時間があればプールに行きクロールで少し泳ぎ、歩いて、シャワーを浴び、さっぱりした気分で電動自転車で何とか通っています。少しでも運動すると夕食がうまいです。

ともかく、健康第一、二人三脚で、残り少ない人生をおおいに楽しんでいます。



会員番号 23 塩澤 迪夫 (しおざわ みちお)

- | | |
|------------|--|
| ① 1997年2月 | ⑤ 立飛企業(株)監査役、関連会社代表取締役 |
| ② 1936年 | ⑥ 大願成就 |
| ③ 茨城県 | ⑦ 旅行、ゴルフ、コーラス、麻雀 |
| ④ 八王子市大和田町 | ⑧ 278 住民と地域と高齢者を支えよう
290 健康、福祉、街づくり |

健康づくり街づくり

故郷茨城より都内の大学を卒業と同時に八王子市に住み、社会人となり福祉に興味を持ち始め社会に貢献しようとレクリエーションの世界に入り、福祉と健康づくりを少年から高齢者、非健常者に至るまでを対象に始めて59年を数え、平成9年6月にプロバスクラブに入会し24年に幹事を務めました。

自分に体力のある限り、住みやすい街づくりにも貢献しようと、夢のあるこどもたちの世界を応援して地域に“遊びの学校”を設けて土曜日に創作活動やゲーム、ニュースポーツ、野外活動等を伝え多忙で有意義な日々を過ごしています。

健康づくりにおいては、高齢者で体力が衰えている方や障害をもつ非健常者の施設にも出向き指導体験がテレビで紹介されて以来、ニュースポーツの数々のレクリエーション活動が知られています。

全国的に、健康づくりにスポーツの必要性が知らされて、最近は近隣市町村等にも子どもの施設や市町村の非健常者の施設から講師の依頼が届いており、レクリエーション月刊誌にも紹介されています。現在、八王子レク協会の会長職であります。今後もイベントにも自ら考案した種目を演出し、同時に活動が25周年を数えるプロバスクラブの一員として幅広く出向き、老人会、婦人会、児童館、町会等の発展に尽力いたします。



会員番号 26

下山 邦夫 (しもやま くにお)

① 1998年8月

⑤ オリンパス工学工業(株)取締役カメラ

② 1936年

事業部長

③ 岡山県

⑥ 何故、どうして、素直な疑問を持ち続ける

④ 八王子市めじろ台

⑦ 囲碁、彫金、カメラ、和算

⑧ 285 棟方志功展を観て

和算を楽しむ

私の趣味の一つは和算。卓話や便りへの投稿や、生涯学習サロンで、和算で遊ぼうと題して、貴重な時間や紙面を頂いた。今日、囲碁、将棋でもAIが強くなってしまっている。和算の面白さは、紙は不自由、鉛筆もない、ましてコンピューターなど想像すらできない時代に工夫と根性で、大した計算したと思うところにある。その工夫は実は近代数学と同じアイデア、思想が根拠になっていることが多い。AIと言っても、そのもとは、モンテカルロ法やニューラルネットワーク法で、人手ではできない莫大なデータを扱っているのであり、新概念ではないがビッグデータの時代が到来である。

もう一つ和算史では、塵劫記の存在がある。400万部を超える出版があったと言われ、寺子屋で使われた。「宇宙の学校」を進めて延べ約5,000組を超える実施をしてきた。日本全体からすると微々たるものである。データをビッグにすることそれが進歩そのものであると感ずるこの頃である。



会員番号 32

立川 富美代 (たちかわ ふみよ)

① 1995年10月

⑤ 婦人肌着製造会社経営

② 1931年

⑥ まず、やってみよう

③ 兵庫県

⑦ 音楽、国内外旅行、読書

④ 八王子市東浅川町

⑧ 273・274 私の愛車遍歴

プロバスクラブとモンゴル

クラブ創立早々に初代幹事の桂さんが「八王子・モンゴル親善協会」を立ち上げて私もお手伝いをいたしました。其の頃八王子に勉強に来ていたアンガル青年を紹介されました。生活困難で大変なウランバートルに物資を集めて送りました。衣類、運動靴、布地等々個人で直接モンゴルに送れないので、箱詰めして桂さんの車で渋谷にあるモンゴル大使館に届けました。勿論クラブの沢山のメンバーにも支援して頂きました。

公使にも助けて頂き、私がライフワークとしているガールスカウト運動の緑化活動で、モンゴルの学校への緑化公園を贈る活動も始め、スカウトをたくさん連れて度々ウランバートルに行きました。アンガル君に、植樹の合間に今までに見たこともない平原や動物たちの群れ、モンゴルの音楽や文化を少女たちに案内して頂きました。

桂さんは体調を崩され天国に行かれて、親善協会も解散いたしました。アンガル君とのお付き合いは続いていて、5年前にはプロバスクラブの旅の会行事として15名でモンゴル訪問、1昨年は11名でモンゴル訪問しアンガル君にお世話になりました。彼は今大企業の社長として活躍中ですが、故桂さんが繋いでくれた糸は今もプロバスとモンゴルを結んでいます。



会員番号 34 土井 俊玄 (どい しゅんげん)

- | | |
|-----------|-----------------|
| ① 1996年8月 | ⑤ 相模原市立中学校 校長 |
| ② 1935年 | ⑥ 自覚々他・自利々他 |
| ③ 東京都 | ⑦ 椿栽培・観賞、カメラ、読書 |
| ④ 八王子市千人町 | ⑧ 273 動植物と私 |

プロバスクラブについて思い出すまま

神奈川県教員を定年退職後すぐに入会して早や25年が経過しました。今は亡き医師であり、南ロータリークラブのロータリアンであった坂本敏雄氏は、中学校時代の同窓生であり、かたや私のかかりつけのお医者様でもあった関係から、その推薦を受けて入会したのです。平成8年の8月だったと記憶しています。創立当時の会員の皆さんの熱意は高く、全員がサロンの講師として積極的に参加する意欲も高くお持ちのようでした。私も稚拙な話題を提供しました。趣味の野鳥の話とか椿の話など。また、日本人の宗教意識を話題にしてもらったりして、参加の市民の皆様と話し合ったことなど楽しく思い出されます。

とにかくこのプロバスクラブは退職後の職業人に素晴らしい活動の場を与えてくれ、心身共に活性化が促され認知症を近づけない大きな力になっていると信じています。

しかし、このクラブに問題点は皆無かと言えば、そうは言えない面もあるように思う。会社人間として熾烈な競争を生き抜いた有能な人とそれとは別の道を歩いた人の間には、やはりクラブの在り方についての意見の相違などはその一つといえます。バランスのとれた運営が望まれます。



会員番号 40 濱野 幸雄 (はまの ゆきお)

- | | |
|------------|----------------------|
| ① 1995年10月 | ⑤ 東洋紡績(株) 工場長 |
| ② 1935年 | ⑥ 人間処至青山 |
| ③ 東京都 | ⑦ グランドゴルフ、野球観戦、機械いじり |
| ④ 八王子市檜原町 | ⑧ |

女房の声

最愛の女房を亡くした。

前回の時には「討論会」として、話をしてもらった人だが、今は討論する人もいない。毎朝6時半に起き、朝の支度、昼の準備、夜の味噌汁作りをする。(これが今の私の日課である)

朝・晩には必ず仏壇の女房に挨拶。その時々には孫達の様子を報告する。次女の息子が結婚した。次女の娘も結婚の準備に入った。また、長女の長男も結婚が決まった。今年の大学入試時には、長女の三男が東京大学(理科Ⅲ類)に挑戦した。結果は合格。女房の顔がいつもよりも輝いて嬉しそうだ。

今はコロナ禍で、その他の事には出来るだけ手を出さずにいる。通常ならグランド・ゴルフ(週2回)、筋トレ(週2回)、その他週2回のクラブにも出ているが、持病のリスクがあるので、今はバスを使う事にも躊躇している。



会員番号 45

宮崎 浩平 (みやざき こうへい)

- | | |
|------------|------------------------|
| ① 1997年10月 | ⑤ 日立キャピタル(株)東京営業本部営業部長 |
| ② 1936年 | ⑥ 生涯修身 |
| ③ 東京都 | ⑦ 読書(歴史研究)、ゴルフ、囲碁 |
| ④ 八王子市大横町 | ⑧ 200 ポストン美術館・日本美術の至宝 |
| | 270 メトロポリタン美術館展の観賞 |
| | 220 八王子美術館めぐり |

温故知新

宮崎会員は現在病後のリハビリに専念しており、本誌編集印刷期限の関係から代筆を以って紹介記事とさせて頂いた。氏の真骨頂、そのジャンルは歴史研究、とりわけ郷土史研究の深掘りであり、それは根っからの土地っ子を任じる学兄のライフワークである。前回のクラブ記念誌には、「八日町宿・新野家文書集成」と題して、延宝2年(1673~1681)の文書を初見として、近代の明治時代までを通した八王子宿駅の政治、経済、文化の紹介記事を寄せられた。時は今、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリー日本遺産の一角に、霊気満山 高尾山~人々の祈りが紡ぐ桑都物語~が認定された。恐らくリハビリ終了後の宮崎学兄は、この又とない機を捉えて、豊富な郷土史研究の資料を基に、大舞台に躍り出た桑都物語に温故知新、個性あふれる観点から新たなロマンを吹き込んでくれるに違いない、と確信している。(文責杉山)



会員番号 48

吉田 信夫 (よしだ のぶお)

- | | |
|------------|----------------|
| ① 1997年12月 | ⑤ (株)東芝医用機器事業部 |
| ② 1937年 | ⑥ 青春とは心の様相を言う |
| ③ 山形県 | ⑦ 囲碁、散歩、米沢藩の歴史 |
| ④ 八王子市並木町 | ⑧ 221 天声人語書き写し |

再出発

サミュエルウルマンの「青春」とは「人生のある時期をいうのではなく心の様相を言うのだ」を大事にしてきた。

近年、年とともに体力が低下し、故障や病で医者通いが続くと気持ちに張りがなくなってきた。このようなことは今まで考えられなかった。自分の陥った状況に愚痴を言っても始まらない。冷静に簡単に出来ることから再スタートすることにした。

プロバスクラブの方との交流は当然として、趣味の囲碁、一時間の散歩を再確認した。趣味についてはいずれも記録をとっているが、最近は内容が悪く、モチベーションを上げるのは大変である。気力を充実させて取り組み、サミュエルウルマンの青春を謳歌したい。



会員番号 66

武田 洋一郎 (たけだ よういちろう)

① 2001年4月

⑤ システムエンジニア、行政書士

② 1941年

⑥ 誠心誠意・まず一步を踏み出せ

③ 満州国 奉天市

⑦ 写真、合唱、楽器演奏

④ 八王子市片倉町

⑧ 241 私の引き上げ記録～戦後70年を追想

終戦75年目の夏に想う

1941年(昭和16年、満州年号・康德8年)旧満州奉天生まれ、終戦当時は4歳、戦争の記憶は全くありません。自分がどのような状況下に置かれていたのかは、文献や体験談の書物などをたよりに想像するしか有りません。

画文集『私の八月十五日昭和二十年の絵手紙』2004年発刊には111名の漫画家・作家達の作品が綴られています。この本には終戦当時の内地の様子が克明に描かれており、中に『もうすぐ帰れるよ 町田典子文、森田拳次絵』が掲載されています。また、『沈まぬ太陽 坊やは日本に帰れるといいな』坂本俊雄著は多数の文献からまとめた時系列戦況と個人の状況を詳らかに書かれておりとても参考になった。

現在私は、“「満州の記憶」研究会”という会に会員登録しています。満州に暮らした人々の証言を未来に引き継ごうと、一橋大学・佐藤仁史教授ゼミ生が中心になって筑波大、東京外語大、立命館大、愛知学院大の若手大学院研究者8人が2014年に立ち上げたのです。毎年、講演会、研究会を開催しており、研究成果の書物も発刊しております。

戦争の悲惨さを語り継げる人々は年々少なくなつてゆきます。父と二世の私が入会していた「満鉄会」(松岡満寿男理事長、会員700人)も2016年に高齢化を理由に解散になりました。父の遺した満鉄ひろの倶楽部会員名簿などを寄贈していました。

会員各位も、孫たち、後世の人々に戦争の悲惨さを伝えるためにも戦争体験記をまとめておかれては如何かなと思うこの頃です。



会員番号 70

佐々木 研吾 (ささき けんご)

① 2001年9月

⑤ 日本銀行盛岡事務所長

② 1932年

⑥ 公平無私

③ 秋田県

⑦ 地理研究、クラシック音楽鑑賞

④ 八王子市長沼町

⑧

地図と楽譜

地図と楽譜は私にとって生涯の伴侶である。地図の一部記号を除き、いずれもほぼ万国共通であり、その含意はまことに深い。

地図に親しむきっかけは、小学校就学前に、旧制中学校の歴史・地理の教師であった父から与えられた地図帳の美しさに魅せられたことにあった。鮮やかな緑の平野、深さ・高さに応じて濃淡の青や茶色に彩色された海や山などの美しさが、幼い私を虜にしたのであった。このことが、国土地理院の地形図を携えて山野や街を歩き回る、現在の「地理研究」の趣味につながっている。

また、中学・高校時代に合唱に熱中したことが、楽譜に親しむきっかけとなった。楽典、読譜、発声等の基礎を叩きこまれ、猛練習に明け暮れるうちに、音楽理論の合理的体系に魅せられ、楽譜さえ読めれば大抵の曲は歌えることに大きな喜びを感じるようになった。読譜の喜びは、その後の合唱活動のほか、広範な音楽鑑賞にも役立っている。

(病後リハビリ中、執筆不自由につき、20周年記念誌より転載しました)



会員番号 73 山崎 修司 (やまざき しゅうじ)

- | | |
|-----------|---------------------|
| ① 2001年9月 | ⑤ セイサ(株)常務取締役営業本部長、 |
| ② 1934年 | 東洋精密(株)代表取締役社長 |
| ③ 北海道 | ⑥ 精神一到何事か成らざらん |
| ④ 八王子市台町 | ⑦ 囲碁、ゴルフ、ウクレレ、旅行 |
| | ⑧ |

85年を顧みる

中学まで、北海道の農業の町で過した。桃源の地と呼んだ来町者もいた。高校はノーベル賞を受賞した鈴木博士が先輩の苫小牧高校で、アイスホッケーが強く、東京6大学が練習試合に来ていたのを記憶する。

囲碁を覚えたのはその頃で、同時に酒の美味さを覚えた。大学は京都で、我々の時代は学生を大事にしてくれた街と思う。飲み屋は学生証見せると、付けで飲ませてくれたし、部屋代も東京の1/2程度と記憶する。

就職は大阪で入社2年で東京転勤。旧丸ビルで10年過ごした後に関西へ戻り、平成八年に再度東京に来た。

顧みて、小中高は別にして大学入学、就職、結婚と人生の岐路で常に考えていた希望、意図とは全く違った道で、偶然と妥協の連続の中で過ごしてきた。

「人生とは、遠くを振り返ると、大概是皆、他愛のない事に過ぎない」と吉川英治が書いているように、今、思いをめぐらしている。

人生って偶然の連続の中にあり、人間は常に新たなる偶然と出会い、接して、溶け込み、自らを楽しく生きることの出来る、進化した動物なのか。



会員番号 74 阿部 治子 (あべ はるこ)

- | | |
|-----------|-----------------------|
| ① 2002年9月 | ⑤ 茶華道教授 |
| ② 1937年 | ⑥ 和敬清寂、奉仕の精神 |
| ③ 福島県 | ⑦ 旅行 |
| ④ 八王子市上野町 | ⑧ 256 盧同の「茶歌」と近代の茶の葉養 |
| | 275 あこがれの寒山寺に旅して |

同好会立上げの頃

東京八王子プロバスクラブ 25 周年おめでとうございます。

私は平成14年、大串延子会員の紹介により、入会しました。既に煎茶の弟子、故須藤英雄会員も入会しておりましたので、少しずつプロバスクラブの意義、意識も解り、会員の方々とも親しむことが出来ました。

平成15年当時は、同好会も少なく、同好会を増やせないかとの話がありましたので、「茶の会」を立ち上げました。当時、会員の方々は戦後の教育、その後の企業戦士として活躍し、生きてきた中、茶の湯の世界は遠い存在と思いながらも憧れは心の中にあった様でした。

会員十数名、日本文化、美意識、力量が発揮され、よきサロンとなりました。令和の時代となり新たなる「八王子プロバスクラブ」の弥栄を祈念します。



会員番号 75

永井 昌平 (ながい しょうへい)

① 2002年1月

⑤ オリンパス(株)常務取締役

② 1938年

⑥ よく遊ぼう

③ 東京都

⑦ ゴルフ、工学技術の日本史

④ 八王子市石川町

⑧ 259 ハレー彗星を追って。 260 蛍

287 明かり今昔

江戸の名物

落語「二番煎じ」の枕に江戸の名物が出てくる。「武士、鯉、大名小路、広小路、茶店、紫、火消し、錦絵、火事に喧嘩に中っ腹、伊勢屋、稲荷に犬の糞」8代目三笑亭可楽のCDより。流派によって違いがあり三遊派では「広小路」が「生鰯」になる。「生鰯」は庶民の食物であり、一方「広小路」は火事の類焼を止めるための幅広い道路である。「二番煎じ」は番小屋の話であり「広小路」の方がふさわしい気がする。

神田須田町に「立花亭」という寄席があった。生家の近くで、幼稚園のころから通っていた。紙切りの名人、初代林家正楽にはかわいがられ、色々と切ってもらった。それを母がとっておいてくれたのだが、遺品を探しても見つからなかった。

寄席は、見世物同様、不定期に行われていた。初めての専門的な寄席は下谷神社境内に初代三笑亭可楽が開いたもので寛政10年(1798)であった。こうしてみると、「寄席」自体が江戸の名物と云って良いのかもしれない。



会員番号 78

橋本 鋼二 (はしもと こうじ)

① 2002年1月

⑤ 農林水産省北陸農業試験場長

② 1934年

⑥ 学び心を持ち続ける

③ 八王子市

⑦ 囲碁、ランの栽培

④ 八王子市北野台

⑧ 285 1964年の大冷害と東京オリンピック

290 タイから女性研究者の来訪

ランとのつきあい30余年

私の趣味のひとつはランの栽培である。1.5坪の温室2棟でおおよそ300鉢を育て、年間を通じていずれかのランが開花しているのに自己満足している。愛好者の団体に加わり、月例会に通って先輩の話を聞き、熱心にいろいろな株を入手し栽培を試みた時代もあった。ランは世界中に分布しており、何万種もあるので、愛好家のレベルも様々である。暑さに弱いものもあれば、寒さに弱いランもある。原生地の気候に合わせれば良いと言われても、そうそう簡単に調節できるものでも無い。高値で買ったものはほとんど枯らしてしまったが、それらは増やすのが簡単ではない原種だった。ベトナム、タイ、インドネシア、パラグアイなど海外に出向いた時に入手したものもあったが、長持ちしたのは僅かであった。

それでも、わが家の家風に合った株は20年、30年と生き続け、時期が来ると花開く。最長寿なのは母親が大事にしていたフウランで、没後私たちが面倒を見るようになってから30余年、初夏に香り豊かな白花を着ける。



- 会員番号 79 浅川 文夫 (あさかわ ふみお)
- ① 2002年8月
 - ② 1933年
 - ③ 長野県
 - ④ 八王子市諏訪町
 - ⑤ 分光計器(株)代表取締役
 - ⑥ いたるところ青山あり
 - ⑦ 囲碁
 - ⑧ 278 地球環境

ふるさと

私が生まれたのは、長野県北部の古里村です。村の中央を流れる浅川は、北斎で有名になった小布施で千曲川に合流します。小布施の隣は、高野辰之が生まれた中野市で、故郷や、朧月夜の舞台です。私も子どもの頃、兔を追いまわしたり、魚を釣った川や菜の花畑の月夜などよく思い出されます。高校を出て上京してから、古里村は長野市に合併されて、地名はなくなりました。子どもが生まれた頃、住みついたのが八王子の浅川のほとりです。この辺りの河川敷は広く約200m先の対岸は霞んで見え、その先は丘陵地帯になっております。堤防上の散歩道はセンターラインのある立派なものです。ここから上流は夕焼け小焼けの里の先に陣馬の山々がよく見えます。

夕焼け小焼けの作詞者は八王子市生まれ、作曲者は長野市生まれです。八王子も長野もそれぞれこの歌は自分達の街のものだと思っています。二つの街の市民合唱団による交流会が何回も持たれています。

八王子に住んで約60年、長野も八王子も私にとってかけがえのない大事なふるさとです。温暖化による異常気象や核のごみ、有害物質によって環境は悪くなるばかりです。生き物のふるさと、地球を壊さないよう、今はただ祈るばかりです。



- 会員番号 80 矢島 一雄 (やじま かずお)
- ① 2002年9月
 - ② 1937年
 - ③ 福島県
 - ④ 八王子市上野町
 - ⑤ 八王子市 収入役
 - ⑥ 生涯青春
 - ⑦ 写真撮影、ゴルフ、囲碁
 - ⑧ 281 「170歳二人展」を振り返る

コロナ禍の中での健康管理

新型コロナウイルスの発生以来、8ヶ月も経過したにも関わらず、感染拡大が一向に収まりそうもない。八王子市に於いても、9月に入ってから2桁の数字で連続して患者の発生が記録されるなど、地域に住む高齢者の一人としては、些か気になるニュースである。

先日も、定期的な診察を受けに病院に行ったところ、担当の医師から足の筋力が大分落ちていますねと云われ、改めて、家に籠り切りになって、テレビや読書で過ごしてきた生活が思い知らされた。今までも、コロナウイルスの感染情報が流れる度に、家の中で出来る何か新しい体力維持の方法をと思い立ったものの、病院通いの身ではなかなか適した運動も見つからず、無為に過ごしてきた生活が今になっては悔やまれる。

最近のテレビのニュースによると、いま高齢者の間でラジオ体操に注目が集まっているとか。何時でも何処ででも又一人でも出来る手軽さが、コロナ禍の中で体調の維持に苦労している、多くの人に受け入れられたようである。

何れにせよ、コロナウイルスの収束にただ手をこまぬいているだけでなく、新しい日常生活に挑戦しようとする多くの高齢者が居ることを知り、改めて、身近に出来る事から始めようと覚悟を決めた次第。



会員番号 81

下田 泰造 (しもだ やすぞう)

- | | |
|-----------|---------------------|
| ① 2003年1月 | ⑤ 横川エレクトロニクス(株)生産技術 |
| ② 1942年 | 部長 |
| ③ 東京都 | ⑥ 孤掌鳴らし難し |
| ④ 八王子市廿里町 | ⑦ 古典落語鑑賞、庭いじり、酒味 |
| | ⑧ |

プロバスクラブへ入会時の思い出

私がプロバスクラブへ入会したのは2003年1月です。早いものでもう18年前になります。初めての例会は、新年会をかねて海苑で行いました。私は定刻よりも早く会場に行きましたが、周りの方々は皆さん知らない方ばかりで大変心細い思いでした。幸い市子連（八王子市の子供会連合会）で一緒した事のある2名の方と会員の方1名の方が、私の立場に気を使って下さり、いろいろ話しかけてくださいました。おかげ様で気まずい思いも薄らぎ地獄で仏に逢った様な思いでした。

いよいよ新入会員の紹介ですが、現在と同じように入会を進めてくださった方から紹介される予定でしたが、その紹介者が定刻を過ぎてもお見えにならない。どなたか忘れましたが代わりに紹介して下さり無事に終了しました。その時に“南京玉すだれ”をご披露させていただきましたのがプロバスクラブの会員として大道芸を行った初舞台です。またこの時に話しかけて下さった方々に今でも感謝している次第です。今度は新しい方が入会したときには私の方から積極的に話しかけようと思って居ります。



会員番号 88

池田 ときえ (いけだ ときえ)

- | | |
|-----------|----------------|
| ① 2005年3月 | ⑤ 絵手紙花の会講師 |
| ② 1943年 | ⑥ あしたがあるさ |
| ③ 東京都 | ⑦ 絵、字を描くこと |
| ④ 八王子市北野台 | ⑧ 285 棟方志功展を観て |

懐かしきこと思い出す良夜かな

プロバスに入会して15年になります。その間にはお世話になった良き先輩とのお別れがいくつもありました。思い出すままに。

石井 充さん 監査報告の終わりにひとこと、「この乏しい予算をやりくりして成果を出しておられる理事の皆さんのご苦勞に感謝します」思わず拍手しました。

大高秀夫さん 私の入会時の会長さんでした。心細い思いでいるのがおわかりなのでしょう、「大丈夫ですか」とよく声をかけてくださいました。はい、今はもう大丈夫です。

米林伸恭さん 野球のお話は？で申し訳ないことでしたが、石坂洋次郎、五木寛之などの文学談義は楽しくて意気投合。私の好きな豆本のコレクターでもあり高価な作品を何冊か拝見しました。装幀や綴じの美しさ、俳優の米倉斉加年氏の描いたイラストはよく覚えているのですが、肝心の題名や内容がどうしても思い出せない。なんということ！

そして**渋谷文雄さん** プロバス句会の親分でした。当意即妙、硬軟取り混ぜた話題でいつも座を盛り上げてくださいました。あの朗らかなお声が聞けないのは寂しい限りですが、私たち子分は心優しい河合宗匠のもとで今も懲りず飽きずに駄句名句を製造しています。



会員番号 89

東山 榮 (ひがしやま さかえ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| ① 2005年4月 | ⑤ 建設会社役員、マンション管理士 |
| ② 1931年 | 一級土木建築施工管理技士 |
| ③ 山梨県 | ⑥ 成せば成る |
| ④ 八王子市泉町 | ⑦ 囲碁、ゴルフ、俳句 |
| | ⑧ 290 プロバスと歩んで15年 |

人間の性（さが）について

ある日の新聞に落語のどけちの話が載っていた。それは旦那さんが小僧さんと呼ばれ、近所の家に金ずちを借りに行かせる。しかしその家の主人は「打つのは鉄の釘か、竹の釘か」と尋ね、「鉄なら貸せない。金ずちが減るから」。話を聞いた旦那さんは「しみったれた野郎だ。じゃあ家を出して使おう」。そんな並外れたケチの話を見て、ふと思ったことは、大正期に家の隣りの話で、嫁に来た実家が糸繭商で、仕入れの金策に嫁入り先の主人に「家を抵当に入れさせてくれ。儲けですぐ外すから」と頼まれ、嫁の実家の頼みでは断わり切れず返事をしてしまった。その後数か月経っても話がない。忘れたころに突然、抵当権実行の通知がきて驚いた。嫁の実家の家はそのまま、「申し訳ない。あてが外れて借金が返せなくなった。この始末は必ずつけるから」と言ったが、抵当権は実行されて、住み慣れた家は壊され土地は取られてしまった。

これは無知と人の好きと返済不能な時を考えて、それを利用しようとした相手の狡さということだが、何か人間の性（さが）のなせる業という意味で、落語のどけちの話と相通じる感じがしないでもないと思った。



会員番号 92

杉山 友一 (すぎやま ともかず)

- | | |
|------------|------------------------|
| ① 2006年1月 | ⑤ 空調エンジニアリング会社 社主 |
| ② 1935年 | ⑥ 魂に皺をよせない。 |
| ③ 東京都 | ⑦ 音楽鑑賞、ゴルフ、読書、ボランティア |
| ④ 八王子市元本郷町 | ⑧ 284 自主学習会 老年研究会報告 |
| | 291 能観賞「翁」の感謝と祈り |
| | 295・296 我ら昭和世代 (1) (2) |

日々是好日

80歳の折には、思いのほかの元気にまかせて「古希祝うに足らず、傘寿未だ青春なり」と、わが身に言い聞かせながら走ってきた。気が付けばあれから早くも5年経過して、さすがに身体の衰え、部品機能の劣化は一層顕著になってきた。そんな自覚の中で、次なる道標、卒寿を目指す心境は既に大きな変化を自覚している。古来日本の「いろは歌」に曰く、「色はにほへど 散りぬるを 我が世たれぞ 常ならむ」の心境への没入である。文字通り光陰矢の如し、いよいよ人生最終章に向けて身支度を整えなければならない時期にきているとの思いが募る。若い頃、明治生まれの大先輩の葬儀でお別れの色紙を頂いた。90歳半ばの枯れた筆致で、「やりたいことをやり尽くし、この世に悔いもためらいもなし」と記されていた。時は流れて今、昭和世代の我が晩年、魂に皺を寄せることなく日々是好日、修行の日々と心得て、やがて旅の終わりはかくありたしと願っている次第です。



会員番号 93 岡本 宝蔵 (おかもと ほうぞう)

- | | |
|------------|--------------------|
| ① 2005年12月 | ⑤ DX アンテナ(株)業務部長 |
| ② 1942年 | ⑥ 脚下照顧 |
| ③ 北海道 | ⑦ 社交ダンス、カラオケ、吟詠、旅行 |
| ④ 八王子市叶谷町 | ⑧ 295 私のボランティア活動 |

名前のルーツと再チャレンジ

当クラブに 2006 年に入会して早くも 15 年目になり、会員の皆様と楽しく過ごさせて頂き感謝致しております。あつと言う間に後期高齢者で 78 歳に、平均寿命までは元気で過したいと思っています。

両親が私に付けてくれた「宝蔵」の名のルーツを知りたく亡き母が仏教の教えの中に「雑宝蔵経」というのがあり、その中に「無財の七施」を一つでも実践実行して欲しいとの願いであった。

「無財の七施」とは、① 優しいまなざしを持つこと。② 穏やかな表情で接すること。③ 和やかな口調で話すこと。④ 労を惜しまず手助けすること。⑤ 気持に寄り添うこと。⑥ 座る場所を譲ること。⑦ 居場所を提供することが大切である。と解かれていました。

そのような身振りや言葉遣いや心構え、言い換えれば思いやりの実践が大切であることは、難しいことも分かっていることです。人を思いやる行動も大切であると分かっている中々それを実行できないものです。勇気を出して行なったとしても、かえってありがた迷惑になってしまうことさえあります。しかし、例え満足に行なえないとしても、善い行いの実践を心掛けることが大切ですが、これから私がすべきことは、思いやりの心を忘れずに、日々大切に過しながら「真心」を「おすそ分け」して行けるように、残りの人生を大切にしながら両親から頂いた名の「宝」の「蔵」に負けない様、また恥じない様、一つでも努力して行きたいと望んで居ります？…



会員番号 100 戸田 弘文 (とだ ひろふみ)

- | | |
|------------|------------------|
| ① 2006年10月 | ⑤ (株)戸田工務店 代表取締役 |
| ② 1945年 | ⑥ 誠実 |
| ③ 東京都 | ⑦ 酒、読書 |
| ④ 八王子市追分町 | ⑧ |

この頃

プロバスクラブに入会させて頂き 14 年が経ちました。皆様にはいろいろの形で迷惑をかけておりますが、プロバスクラブの皆様の元気、行動力にはいつもびっくりしております。私も負けずに少しでも役に立つように努力して参りたいと考えております。

私は、もともと八王子生れの八王子育ちですので、お祭りが大好きでいつも参加しております。八王子祭りでは、役員として頑張っております。

私は、まだ現役で仕事を続けておりますが、体が動くうちは働くつもりでおります。諸先輩から元気をいただき、八王子のために少しでもお役に立ちたいと考え、地元小学校の今後の諸活動にも積極的に取り組んでゆく覚悟をしております。



会員番号 102 宮城 安子 (みやぎ やすこ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| ① 2007年1月 | ⑤ 八王子レクリエーション協会理事 |
| ② 1938年 | ⑥ 根気、元気、勇氣 |
| ③ 東京都 | ⑦ ハイキング、旅行、編み物 |
| ④ 八王子市中野町 | ⑧ |

健康づくりは、健康な時に

私たち人類がかつて経験したことのない高齢化時代がやってきました。戸惑いを感じながら「自分の身体は自分で守る」を合言葉に運動の好きな人も、苦手な人も、健康管理のためには、絶対必要な運動であると確信し動き回った年月でありました。

このトリム体操は、昭和42年世田谷区で産声をあげました。その後、都内はもとより近県にも広がりました。クラブの育成・指導者の養成にも力を入れ、今では全国に広がっております。健康がすべてではないが、健康でなければ何も出来ない。私はトリム体操を通して仲間づくりをするのが夢です。多くの仲間が集い明るく・楽しく・笑顔で健康である人生航路を過すために、健康づくりは、健康な時に楽しく。

トリムの語源を紹介しておきましょう。この言葉を始めに使用したのはノルウェーですが、世界的に知られるようになったのは、1970年からの西ドイツの大キャンペーンによるものです。トリムとは造船用語で、もともと「船のバランスを保つ」または「出船に際して船の調整をする」という意味があります。それを人間の身体になぞらえて、人生航路を元気に過ごすため心身ともにバランスのとれた健康づくりを目指す運動の総称です。



会員番号 104 有泉 裕子 (ありいずみ ひろこ)

- | | |
|-----------|--------------|
| ① 2007年7月 | ⑤ 八王子八幡町郵便局長 |
| ② 1941年 | ⑥ 継続、努力 |
| ③ 山梨県 | ⑦ コーラス、陶芸、登山 |
| ④ 八王子市上野町 | アメリカンスクエアダンス |
| | ⑧ 259 上高地散策 |

高千穂峰と韓国岳登山の思い出

平成20年12月6～8日で九州の山へ登山しました。鹿児島空港へ着きジャンボタクシーで高千穂峰の登山口高千穂河原に向いました。天気は良かったが空気は冷たかったです。道は火山岩の小さな石が沢山あり気をつけながら登りました。途中から木々に樹氷が見られるようになりびっくり、頂上まで行きましたが、あまりに寒いので早々に下山しました。

高千穂峰は宮崎県と鹿児島県の県境に位置する標高1,574mの霧島連山の第二峰。天孫降臨の山として知られ山体は霧島錦江湾国立公園に指定されています。歴史と美しい山容を持つ霊峰です。

えびの高原のホテルに宿泊して、今回のハイライトである韓国岳の縦走に出発しました。周りの木々は樹氷の花でいっぱい、登って行くと両側は樹氷のトンネルの連続でした。素晴らしい眺めでした。こんな景色はめったにないそうです。良い思い出になりました。

韓国岳は九州南部に連なる霧島山の最高峰で宮崎県えびの市、小林市、鹿児島県霧島市の境界にまたがる山です。





会員番号 106 高取 和郎 (たかとり かずろう)

- ① 2007年12月
 - ② 1935年
 - ③ 東京都
 - ④ 八王子市平岡町
 - ⑤ 東京都立病院 薬剤科長
 - ⑥ 栄冠陰に涙あり
 - ⑦ 陶芸、写真、洋ラン栽培、スキー、カラオケ
 - ⑧ 250 高取焼の窯元を訪ねて
- 191 楽茶碗の焼成

私と陶芸

私の陶芸は、1995 年いちょうホールであった陶芸教室の作品展を見て、その教室に参加した。時からです。轆轤を使い始めて直ぐに茶陶を手掛けましたが、抹茶茶碗に仕様があるのも知らず作陶していました。プロバスクラブに入会し、お茶の会が在るのを知り、会に入会させて戴きました。お茶会に出席して多くの抹茶茶碗を見せていただき、大変勉強になり、以後の作陶技術の向上に繋がり、有難く感謝しています。陶芸教室に入って19年目に教室へ通う道程が半分の市民センター内に陶芸教室があるのを知り、会員が8人の会に入会させて戴きました。今は茶陶を中心に香炉、花瓶などを作陶しています。此処は、自分の作品を素焼き、釉薬掛け、本焼きの釜入れまで自分たちが行うので大変作り甲斐があります。多くの作品を作りましたが、自分がこのような作品をと思っても、出来上がって見ると何か違っている。このことを以前、見学に行った九谷焼の窯元の方に話した所、帰ってきた言葉は「出来た作品が思っていた物と思えば良いという」成程と思いました。陶芸を始めて今年で25年になります。今では楽しく自由に作陶出来ると大いに作陶に励んでいます。



会員番号 107 竹内 賢治 (たけうち けんじ)

- ① 2007年12月
- ② 1932年
- ③ 福井県
- ④ 八王子市梶田町
- ⑤ 伊藤忠金沢支店長、(株)ハチバン社長
- ⑥ 人は石垣
- ⑦ 美術鑑賞
- ⑧

人生 八十路の峠越え

2020 年 8 月 5 日の誕生日で、八十八歳を迎えました。

私の人生で楽しいこと、苦しいこと、仕事でうまくいったこと、失敗もありました。生まれて20 歳までに三度の死期がありました。

- ① 3 歳から 4 歳の時「疫痢」に掛かり、この子は育たないでしょうと言われていましたが、隣の町内に新しくできた「小児科医院」開業医の努力で助かりました。
- ② 中学 1 年(昭和 20 年 7 月 28 日)米軍の空襲で一晩中「焼夷弾」の落ちる中を田圃の畦道を逃げ回り、怪我もなく助かりました。
- ③ 高校 1 年(昭和 23 年 6 月 28 日)福井の大地震で 2 階建ての家が倒壊した中で、かすり傷程度で 4 時間ほど掛けて這い出し助かりました。

その後は、今日まで命に関わるような病気もなく今日に至っています。三度の死に目を乗り越えたことが、長寿の好運札を入手できたとの思いです。



会員番号 109

久野 久夫 (くの ひさお)

① 2008年6月

⑤ 八王子消化器病院 理事

② 1943年

⑥ 願えば叶う

③ 神奈川

⑦ 骨董収集、古典落語

④ 大和市南林間

⑧ 275 皆さん、お達者で

拝啓「寿」様

久野久夫

「寿」さまには永らくご無沙汰を致しました。前回、貴方様にお会いしたのは、私27歳の結婚祝いの時でしょうか。爾来50年此の方、還暦・古稀の祝いを経て、令和2年8月1日の喜寿にて貴方様との再会が相叶いました。還暦・古稀の折に感じたことですが、当時は他人事のようで少しばかりの戸惑いがありました。

喜寿を迎えた今、こうして貴方様にお会いして“漸くここまで来たか”とヤレヤレの安堵感を覚える一方で、未だ未だの意気込みでこの先に待つ寿様に向け、悔いのない日を送りたく思っております。プロバスクラブの席では先輩諸氏の喜寿・傘寿・米寿などに纏わる逸話や感想を拝聴する度に、人それぞれの歴史ありと感じ入っております。

この後、傘寿・米寿・卒寿・白寿・紀寿(百寿)・皇寿と続く寿様とはどこまでお付き合いできますことか、まずは入り口の喜寿に到達した今、願わくば健康な身で母がお会いした卒寿様には御目見得願いたく存じます。

敬具

俺のことか

たどり着き

戸惑いながら 古希の夏

ヤレヤレ未だの 喜寿の夏



会員番号 110

萩島 靖久 (おぎしま やすひさ)

① 2008年8月

⑤ 戸吹清掃事務所長、夕やけふれあいの里園長

② 1941年

⑥ 根性

③ 東京都

⑦ 庭いじり、麻雀

④ 八王子市宮下町

⑧ 240 庭いじりの知恵

253 庭いじりにそろえたい道具と使い方

八王子プロバスクラブは八王子の宝

東京八王子プロバスクラブが今年で25周年という大きな節目を迎えました。このことは、豊かな経験を積み重ね第一線を退かれた多くの諸先輩の方々が、地域貢献に努力された成果であります。何故なら、八王子市民向けの「生涯学習サロン」の開催、小中学校生徒児童への支援活動として子ども達に未来の発想などへ導く八王子「宇宙の学校」の開催、また、シニア・ダンディーズの各施設訪問、各種行事、八王子市議会議場などへの出演は大変喜ばれているからです。

一方、プロバスクラブ内には多くの同好会があり、様々な活動を通じ、会員相互の懇親を深めております。

25周年を機に一つの提案があります。それは同好会にプロバスクラブ会員以外の仲間作りの輪を大きく広げてはどうかと言うことです。各同好会活動への参加者が増えれば、会員増加にも繋がるのではないかと考えております。

余計なことを書き記しましたが、とにかく八王子プロバスクラブは八王子の宝であります。これからも地域への貢献に向けて前進あるのみです。



会員番号 113

岩島 寛 (いわしま ひろし)

① 2009年4月

⑤ 通産省工業技術院、三菱レイヨン(株)、
子会社経営、ケアメディックス(株)経営

② 1935年

③ 福岡県

⑥ 与えられた環境で最善を尽くす

④ 八王子市緑町

⑦ 水泳、山登り、コーラス、読書

⑧ 269 健康のバロメーター3K

292 2週間の一人旅 …… 日本の歴史探訪

新型コロナウイルス禍に思う

世界中の人々が新型コロナウイルス禍で苦しんでいる。その一番の苦しみは、人と人との触れ合い、すなわち人間のあらゆる活動の原点であるコミュニケーションが出来なくなってしまったことである。国は国を鎖し、学校は閉鎖され、工場も商店もありとあらゆる社会活動が困難になった事である。しかも、その上に命に係わるリスクを最も背負わされたのが、弱き人々、すなわち経済的貧困者、高齢者、基礎的疾患患者などである。

このような災禍は何故に生ずるのであろうか。東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の重大事故、地球温暖化、自然環境破壊、世界規模の経済的格差の広がりなど、すべて人間の欲望と知恵が自己中心的となり、隣人、特に弱き人々や自然環境への思いやりが欠如していることに対するしっぺ返しではなかろうか。

コミュニケーションは、人と人との愛の触れ合いによって成り立つものであり、この原点に立ち返り、新型コロナウイルス禍後の生き方を一人一人がギアチェンジして行かねばと思う。



会員番号 114

飯田 富美子 (いいだ ふみこ)

① 2009年7月

⑤ (株)環境管理センター取締役・監査役

② 1939年

⑥ 日に新た又日に新た

③ 山梨県

⑦ 旅行、絵画、書、サッカー観戦

④ 八王子市横川町

⑧ 259 私の尊敬する大村智先生からの言葉

277 東京タワーと私～建設当時の原風景を

懐かしむ～

～クラブ在籍11年～ 八王子プロバスクラブ創立30周年に向けて！

私事、当クラブに在籍して早11年。委員会活動は地域奉仕委員会を中心に例会委員長、宇宙の学校の監事、28年度幹事、令和元年度は会長として皆さまに支えられて無事(?)に大役を果たすことができました。深く感謝申し上げます。特に会長年度はコロナ禍で何もできずにいた残念な記録に残る年度となりました。同好会活動も俳句同好会では素晴らしい宗匠と句友達に囲まれて10年、充実した時を過ごしております。クラブライフをエンジョイするには例会、委員会活動、クラブ活動、同好会活動、他に飲み会による交流がありますが、クラブの原点は「知性、教養、経験を活かして地域社会に知的貢献を行うこと」にあります。2022年(令和4年)は全日本プロバス大会がここ八王子の地、当クラブがホストクラブとなり開催いたします。成功裡に開催できるように会員相互の交流の活発化と一人一人が健康に留意してクラブライフを楽しむことが最も重要かと考えます。みんなで頑張りましょう。

東京八王子プロバスクラブの次なる30周年に向けて更なる充実発展することを願い皆様のご健勝を衷心よりご祈念申し上げます。



会員番号 118

馬場 征彦 (ばば ゆきひこ)

① 2010年3月

⑤ NEC 常務取締役、NEC ネット SI 社長

② 1938年

⑥ 伸び伸びと楽しむ

③ 愛媛県

⑦ ゴルフ、囲碁、合唱、俳句

④ 八王子市北野台

⑧ 270 田舎の小藩に吹いた江戸の風

見果てぬ夢か、夢の旅

80歳を超えた今の私にとっても、旅は魅力と憧れに満ちた夢でありつづけています。体力・気力を考え80歳からは“クルーズ旅や近場の東南アジア”との考えは、予期せざるコロナ禍により残念ながら多分2年間は封印せざるをえないでしょう。中でも昨秋7回目を楽しんだクルーズ旅は、横浜港の悲劇(ダイヤモンド・プリンセス号)を見て断念することにしました。その一方で、7年程前に計画し体調不良で棚上げしていた“3大瀑布制覇”の夢が蘇ってきました。少しでも体力のあるうちに実現できればと折に触れ家で話していた夢なのです。“ナイアガラ瀑布”と“イグアスの滝”は、出張の途中で訪ねた感動から家内を伴って再訪し、その雄大さと自然の不思議さを一緒に体験することが出来ました。“ビクトリア瀑布”は私も未踏破ですが、ジャカラランダの花の季節(10月)にプレトリアやケープタウンを経由する旅と決めています。最大の難関は往復の長旅と時差でしょう。2年間の封印が解けた時、体力・気力が残っているかはなほ心配です。2年間は老いの身には長すぎ、遂には見果てぬ夢となるのでしょうか。



会員番号 119

田中 信昭 (たなか のぶあき)

① 2010年3月

⑤ 旭化成(株)専務取締役・CIO 他

② 1940年

⑥ ポレポレ(ゆっくりゆっくり)

③ 大阪府

⑦ ゴルフ、囲碁、アルトサックス 他

④ 八王子市みなみ野

⑧ 289 「椅子がこわい」か?

「日が昇る」

うっすらと白んだ東の空、静かな湖面に一瞬光が差したと思う瞬間、おもむろにお日様が顔を出す。夕方の散歩で西の山陰にまっ赤な太陽がまさに沈もうとしている。思わず手を合わせたくなる日常のこの光景、「太陽が水平線に接した瞬間から、すっかりその姿が沈みきるまでの時間」が一体どのくらいの長さなのだろうかと思ふことが気になった。1分?5分?10分?10年以上前になるが、「地球一周の船旅」に出かけた機会に、大海原に昇る太陽を見ながらこれを実測してみようと思った。簡単に思えたこの実測が意外に手強かった。どんなに晴れた朝でも水平線には雲が湧いているのだ。

結局スエズ運河から砂漠状態のアラビア側に昇る朝日を観測したときが、一番うまく行った。地平線に真っ赤な点が現れたと思うと、みるみる大きくなって真っ赤な太陽が顔を出し、全体が現れるまで2分20秒。頭のいい友人は、私が「船旅」に出掛ける前に、この答えを既に計算して教えてくれていた!



- 会員番号 122 野口 浩平 (のぐち こうへい)
- | | |
|-----------|---------------------|
| ① 2010年8月 | ⑤ (株)ダイコー 営業部長 |
| ② 1943年 | (財)東京都ユースホステル協会常任理事 |
| ③ 東京都 | ⑥ 情けは人の為ならず |
| ④ 八王子市上野町 | ⑦ 旅行、美術鑑賞、映画鑑賞 |
| | ⑧ 242 近頃のバンコク事情 |

ユースホステルの話

ユースホステルの話を今伝えないと、街から電話BOXがなくなってしまうようにユースホステルを知らない世代が増えており、東京都ユースホステル協会の常任理事を務めていた私の使命だと思い一言。ユースホステルは、1909年ドイツの教師リシアルト・シルマンが考えました。日本には1951年米国より運動が入ってきました。

ユースホステルは単に安い宿屋はなく、ルールにのっとり宿泊する活動運動にあります。夫婦でも別々の部屋、又飲酒は出来ず、起床、消灯等制約が沢山あるのが特徴ですが、これも、青少年の運動のためです。宿泊して帰る時は部屋を清掃し、来た時よりも美しくの精神です。日本では昭和40年から50年代が大盛況の時代で、NHKの連続ドラマ[太陽の丘]森繁久彌主演のペアレントが有名でした。

ペアレントとは、ユースホステルの管理人のことで、私も45年程前に浜名湖ユースホステルのペアレント経験者です。最近の若者は束縛されるのを嫌いユースホステル離れが進んでいるのが残念です。これからのユースホステルは、私がユースホステルを使い欧米を旅したように、これからはアジア諸国やアフリカ等の若者が、安価で清潔、安心のユースホステルの旅をと思っています。昨年中国に旅した折ユースホステルが盛況で世界の若者が集っているのを見て嬉しく思いました



- 会員番号 123 寺田 昌章 (てらだ まさあき)
- | | |
|-----------|---------------------|
| ① 2010年9月 | ⑤ オリンパス(株)取締役専務執行役員 |
| ② 1945年 | ⑥ 努力(石の上にも3年) |
| ③ 東京都 | ⑦ 旅行、ゴルフ |
| ④ 八王子市北野台 | ⑧ 244 胃カメラの開発 |
| | 288 熊野詣 |

これからやりたいこと

プロバスに入り10年目の年初、続けて3回大きな病気をして入院をした。入院中暇つぶしにパソコンで毎日Uチューブを見て過ごした。興味を引かれたことが3つあった。1つ目は今迄も2~3泊の家族旅行や夫婦旅行を年数回行っていたが、体が動ける内に国内外の長期旅行をする事。現在コロナ騒ぎで出来ないが、騒ぎが収束したらすぐにでも実行したい。2つ目は園芸で、特に大菊作り。現在昨年の菊から、5月初めに挿し穂を行い、その挿し穂成功率8割、先端を摘心して枝を3本にきれいに分岐させる成功率は5割、今後これらの成功確率を上げたい。3つ目は木工で、電動工具をそろえるネットショッピングが楽しかったし、購入後毎日騒音をまき散らしている。40年ぶりに設計図を描き、電動工具の使い方を見た後に実施し、Uチューブとの出来映えの相違に愕然としながら、上手く作るための治具作りと作品作り(化粧シートを貼る作業も)を行っている。何事も初めてやる事への挑戦は何とも楽しい。



会員番号 124

河合 和郎 (かわい かずろう)

① 2011年1月

⑤ 八王子市財務部長、八王子商工会議所

② 1937年

専務理事

③ 東京都

⑥ 知者楽水

④ 八王子市上川町

⑦ 俳句、ゴルフ

⑧ 241 東京オリンピックから半世紀

284 東京オリンピックの思い出

プロバス万歳

私は2011年1月にプロバスクラブに入会した。八王子市役所・八王子商工会議所で通算50年の現役生活を送り、退職してすぐの入会で早や10年目を迎える。会員の皆さんは仕事を離れてプロバスライフを楽しんでおられる。そんなお仲間に加えて頂き、趣味の俳句の分野でも多くの句友を得て、毎月開かれる俳句同好会も既に100回を超えている。

歳を取ると言う事は「別れ」を重ねる事であり、姻戚をはじめ友人・知己との別れを重ねる事である。80歳を幾つか超えて、最近特に身の回りが淋しくなってきた。

新しい出会いと交流の生まれるプロバスクラブで、あと何年活動が続けられるかはわからないが、この掛け替えのない交流の時間を大切にしたい。

人は人あってこそその存在であり、心の癒しも又人がもたらしてくれるのである。正にプロバス万歳なのである。



会員番号 125

根本 洋子 (ねもと ようこ)

① 2011年1月

⑤ 右田病院事務次長、現在病院参与

② 1944年

⑥ 母のような母親に、人間本来無一物

③ 東京都

⑦ 旅行、温泉

④ 八王子市中野山王

⑧ 294 私の半生「医療現場の六十年」

プロバスクラブとの出会い

何年前のことでしたでしょうか。いつも通り事務処理をしているとき、受付より「根本さんに面会したいとおっしゃられる方がお見えですよ」との連絡を受けました。私に何のご用かしらと思いつつ受付に出向きました。そこにはプロバスクラブの杉山様と澤渡様がいらっしゃいました。お二人の地域でのご活躍は耳にしておりましたが、私に何用かしらと思いつつご挨拶を申し上げました。お二人は「今日は貴女に、お手伝いしていただきたいことありお伺いました」とのこと。お話の内容は、プロバスクラブ入会のお誘いでした。突然そのようなお話をいただいても、私にはクラブ活動についていく気力も、能力もないし、今のような日々地域を守る小さな活動だけが私の生甲斐であることを申し上げ、お誘いへの即答は出来ませんでした。クラブに参加して活動することになれば、職場を離れ、理事長をはじめ多くの方に迷惑がかかると思い、理事長に相談しました。理事長の答は私にとって意外でした。「今持っていないエリアで、貴女が勉強する気があればいい話だよ。応援するよ。ご自分を広く高める意味でも」と。体力、気力の未熟さをお伝えした上で、加入のご返事をさし上げました。入会後も活動への責任を感じる日々です。

25周年記念事業を無事に迎えられ、終わるようお手伝いしていきたいと考えております。



会員番号 126 根本 照代 (ねもと みつよ)

- | | |
|-----------|-----------------|
| ① 2011年6月 | ⑤ 都立病院・民間病院看護部長 |
| ② 1942年 | ⑥ 美しいもので心を洗う |
| ③ 静岡県 | ⑦ 園芸、絵画、社交ダンス |
| ④ 八王子市館町 | ⑧ 288 私の過去とこれから |

田舎の思い出

私の生まれ育ったちは、現在の静岡市清水区興津です。それはそれは自然豊かな私にとって忘れ難い『田舎』です。私の田舎を絵に描くとしたら、画面の左後方に伊豆半島、その少し前の右側に三保の岬と松原、その手前はキラキラ輝く駿河の海。時々、貿易港で有名だった清水港に出入りする大きな船と小さな漁船が何隻か浮かんでいる。その手前が興津の町。町の東側に興津川が駿河の海に流れ込んでおり、川口近くに国道1号と東海道線が走っている。町は国道1号と山梨に通じる52号に沿って開けている。その他の平地は田んぼや畑、町の三方は山の頂上までミカン畑でいつも青々としていた。町の西には、歴史的に有名な清見興国禅寺（清見寺）がある。私の田舎はそんな風景でした。

町の東側を流れる興津川は夏の遊び場であり、鮎釣りの解禁日には流れに沿って釣竿が林立しているようだった。川で身体が冷えると海に移動し温まってまた遊んだ。夏は蛍を竹箒で振り落としたり、赤トンボの群れを追いかけたものだった。小川でドジョウをとったり1度だけうなぎを捕まえた事があった。懐かしい思い出は書き尽くすことが出来ない。

このような豊かな自然と新鮮な山と海の幸に恵まれ戦中戦後を過ごす事ができた幸せに感謝している。



会員番号 127 内山 雅之 (うちやま まさゆき)

- | | |
|------------|------------------|
| ① 2011年6月 | ⑤ (株)関電工 企画室室長・ |
| ② 1936年 | 関電工健康保険組合常務理事 |
| ③ 東京都 | ⑥ 誠実さ、思いやり |
| ③ 八王子市みなみ野 | ⑦ 能狂言、茶道、仏像鑑賞 |
| | ⑧ 287 十一面観音像との再会 |

影鳥海 (かげちょうかい)

東北第二の標高を誇る名峰があります。秋田県にある鳥海山です。標高は最高点が新山の2,236m、三角点は東側の七高山の2,229mに置かれています。その姿の良さから「秋田富士」とか「出羽富士」と呼ばれています。

7月後半の真夏日にグループ5人で登頂しました。前日の夜行バスの睡眠不足がありましたが、鉾立登山道から頂上を目指しました。森林帯はあっという間に無くなり、炎天下の登りとなり、出発してから約5時間、今夜の宿泊所である御室小屋に到着。雑魚寝の一夜を過ごしました。夜行バの疲れからか、ぐっすり寝込んでしまい、翌朝、「早く起きろ」の声に眼を覚ますと、小屋の外でリーダーが待っており、頂上の新山に向かいました。「お前達ラッキーだな、影鳥海が見られるぞ」と日本海を指さし教えてくれました。

影鳥海とはご来光を背に受けて鳥海山の秀麗な三角形のシルエットが日本海のスクリーンに映し出される現象で、誰もが肅然とした思いを抱くすがすがしい光景です。二度と訪れることはない鳥海山で、影鳥海を見ることができたことは忘れられない楽しい思い出のひとつです。



会員番号 128

岡部 治 (おかべ ひろし)

① 2011年7月

⑤ キャタビラー三菱(株)、

② 1935年

八王子市体育協会事務局長

③ 東京都

⑥ 出来るまでやれば出来る

④ 八王子市上野町

⑦ ゴルフ、旅行、ガーデニング、社交ダンス、
酒、カラオケ、映画鑑賞、スポーツ観戦

⑧ 279・280 米国初出張体験記

中央線と共に

4歳の時、母と新宿の病院へ行った帰りに、立川駅でお茶を買いに行った母が戻って来ないので、私は慌てて、荷物を抱えて電車を降り、別の乗車口から乗った母と行き違いの迷子になりました。母からの連絡で、私は次の電車の車掌室へ乗せてもらって、興奮しながら母と再会しました。小学生だった昭和21～22年の頃は混雑緩和の為か、上り東京方面への切符を売ってくれないので、下りの切符で東京へ行ったことがあります。また子供は窓からも乗せてくれました。

中学時代、後樂園へ野球を見に行きましたが、電車は鈍行しかなく、凄く時間がかかったものです。高校は立川まで電車通学だったので毎日中央線に乗りましたが、下校途中多摩川を渡り、浅川を超えると、気温差があるのを肌で感じていました。

社会人になって、接待でお酒を飲んで電車で寝込み、終点の浅川（今は高尾）の車庫で目が覚めて非常装置でドアを開けて脱出したことも、度々ありました。なお、高尾の次の相模湖は与瀬という駅名で、なにかの拍子に「よせよ！」と言うと「与瀬は浅川の前だ！」と駄洒落られました。今、後期高齢者になって、たまに中央線に乗ると、席を譲られるようになりました。寂しいことです。



会員番号 131

山口 三郎 (やまぐち さぶろう)

① 2012年12月

⑤ (独)国際協力機構 中南米部部長

② 1947年

⑥ 焦らず、慌てず。諦めず、一步一步

③ 長崎県

⑥ ラテン音楽観賞

④ 八王子市台町

⑧ 291 思い出深い南米エクアドル

思い出の深い一曲

私は数ある中南米音楽の中で哀愁を帯びたアンデス地方の民族音楽であるフォルクローレをこよなく愛している。ケーナとサンポーニャ、そしてチャランゴにギターを加えた楽器から奏でられるこの曲は、遙か昔繁栄を誇ったインカ帝国時代の誇りやその生活振りと言った息吹を感じる。と同時に1500年代前半にスペインのコンキスタドーレス（征服者達）に滅ぼされた哀しみ、無念さが将に心に染みるようである。そんな中、ひととき異彩を放つ「コンドルは飛んで行く」(El Condor Pasa) は誠に思い出深い一曲である。

1913年、今から100年以上も前にペルー人によって作曲された名曲であるが、特に後年サイモンとガーファンクルが取り上げ世界的大ヒットとなった。

私はこの曲をかんの有名なマチュピチュ遺跡で聴いた。空はあくまでも青く、そして高く、澄んでいてひんやりとした空気の中、偶然にも大きなコンドルが空に舞い感激したことを思い出す。



会員番号 134 鈴木 はるみ （すずき はるみ）

- | | |
|-----------|--------------------|
| ① 2014年2月 | ⑤ セント・ベル幼稚園副園長 |
| ② 1949年 | ⑥ 求めなさい、そうすれば与えられる |
| ③ 静岡県 | ⑦ 料理、観劇鑑賞 |
| ④ 八王子市並木町 | ⑧ |

人と繋がる

プロバスクラブに入会のお誘いを受け6年目に入りました。今まで私の関わっていた世界は、職員とともに園児たちの可能性や、新しい発見等の手助けをし、共に育っていく事を見守ることでした。

そして、プロバスクラブへの入会の機会を頂いたことにより、私の生活に新しい風と彩りを与えてくれました。毎月の例会に参加し会員の皆様との交流により、新しい発見が出来ること、そして、「生涯学習サロン」や「宇宙の学校」に参加することにより視野が広がりました。特に「宇宙の学校」では、成長した卒園児に会うことができ、普段見落としがちな人と繋がって、誰かと楽しさや嬉しさを分かち合うという経験も出来ました。

これからも、皆様と一緒に奉仕活動に参加しながら自分自身も勉強し、体験することにより自分の気持ちも豊かになり、地域・社会に還元できるよう努力していきたいと思います。沢山の人たちとの出会いや触れ合いを大切に、人と繋がって誰かと嬉しさを分かち合う楽しさを財産とし、これからも出来ることは積極的に参加し、プロバスライフを楽しみたいと思います。



会員番号 136 持田 律三 （もちだ りつぞう）

- | | |
|------------|--------------------|
| ① 2015年9月 | ⑤ OBARA(株) 代表取締役社長 |
| ② 1945年 | ⑥ 冷たき頭脳と暖かき心 |
| ③ 埼玉県 | ⑦ ゴルフ、短歌、水彩 |
| ④ 八王子市みなみ野 | ⑧ 264・265 私と中国 |

294 新型コロナと家籠り

「郷土～深谷～」

深谷に生まれ、育ちました。就職で東京に出るまで22年間住みました。深谷は今まではネギで有名ではありましたが、最近では渋沢栄一の一万円札の顔ということで話題が増え、そして来年の大河ドラマ「青天を衝け」が始まると言うので、俄かに脚光を浴びております。埼玉県北部の人口14万人の小さな町です。利根川に近いところはネギ畑が多く、子供の頃はみそ汁にはいつもネギ、煮ぼうとうにネギ、そして冬に風邪を引いて扁桃腺が腫れたら、ネギを手ぬぐいに包んでのどに巻いて治すという、何でもネギを使っていました。赤城嵐の強い北風が甘さを加えたようです。今でも、スーパーなどで深谷ネギを見つけると手が出てしまいます。

また、深谷には渋沢栄一が始めた煉瓦工場があり当時の東京駅舎の煉瓦は深谷製なのだと自慢だった。いまでも深谷には煉瓦の蔵、煙突、建物などの多くが残っている。最近、市街地はシャッター通りが多くなり再開発が進んで街の様子がすっかり変わってしまったが、最近時々帰って、小さい時に遊んだ場所を写真に撮ったり、昔の懐かしい仲間に会うことが多くなった。自分の青春が潜んでいる街は大切にそっと残ってほしいと思う。

深谷駅（東京駅に似せた姿）





会員番号 139 一瀬 明 (いちのせ あきら)

- | | |
|-----------|------------------|
| ① 2016年2月 | ⑤ 住友金属鉱山(株)常務取締役 |
| ② 1944年 | 合弁会社NE ケムキャット社長 |
| ③ 山梨県 | ⑥ 人事を尽くして天命を待つ。 |
| ④ 八王子市横川町 | 真実は現場にある。 |
| | ⑦ 読書、ゴルフ、ウォーキング |
| | ⑧ 286 現場主義とプロバスと |

ウォーキングの現場で

豊かな自然に恵まれた八王子に居を移して 35 年近くになる。家内が始めたウォーキングにたまたま同行したのがきっかけでそれにはまって 25 年がたつ。現役時代は土日だけだったが、現在は外出のない限り毎朝の日課になっている。「午前 4 時半起床、5 時から 2 時間歩いて 7 時帰宅。朝風呂と朝食をゆっくり、8 時から読書」これが私の生活リズムになっている。よほどの悪天候でない限り欠かしたことがなく、歩かないと何か落ち着かない。7 コース作って毎日コースを変える工夫もしている。この間寝込んだことがないのが一番の御利益だが、その他いろんな副産物がある。行きかう人との挨拶が気持ちいい。あの人は最近見ないけどどうしてるかなと人に対する関心も持てる。定点観測をしているようなもので、あそこの床屋さん閉めちゃったな。せっかくの梅園が宅地になっちゃった。あそこにも介護施設ができた。今年の桜は咲くのが早いな。高齢化社会への移行や自然破壊、気候変動などいろんな変化を肌でそれこそ現場で感じられるのが大きい。いろんな考えをめぐらす時間もとれる。足の衰えは忍び足でやってきているができる限り永く続けたい。



会員番号 141 齊藤 万里子 (さいとう まりこ)

- | | |
|-----------|---------------------|
| ① 2016年5月 | ⑤ びおら(株)代表取締役(現職) |
| ② 1950年 | ⑥ 今日も佳き日でありますように・・・ |
| ③ 東京都 | ⑦ 手を動かしモノを作ること |
| ④ 八王子市追分町 | ⑧ |

まりこのプロフィール

機屋の長女に生まれ、呉服や洋品の事業経営に関わってきた私が、介護の仕事に就くとは想像もしていませんでした。高齢者認知症グループホームは、大切な命と生活を任せて頂く「信頼」に応える仕事で、その責任の大きさを感じています。

しかし、グループホームの仕事を始めて、不安以上に感じているのは、入居者の方と向き合う中で、日々の幸せをもらっているということです。年を重ねた人間は本来の善になり素直な姿で私に接してくれるのです。グループホームは、当たり前な生活する場として存在しているので、その場だけ、1 日だけ、の介護ではなく生活の流れと一緒に歩むことができるので、一人ひとりの考え方、生き方から多くのことを学び、私自身の人生勉強になっています。これは望外の幸せと思って、ありがたく感謝の毎日です。

大正 7 年、この追分で機屋（織物業）を始めて 100 年。祖父から父そして私と三代。祖父も父も全く異種の仕事に携わっている私に驚いていると共に、見守られているのを感じます。大事な教えの「人とのつながりの大切さ」は事業の内容は変わっても変わりません。

70 才を迎え、コロナと向き合う新しい時代だからこそできることを前向きに模索中です。



- 会員番号 143 井上 克 (いのうえ すぐる)
- ① 2017年1月 ⑤ 警視庁本部検視官・東村山警察署長
 - ② 1939年 ⑥ 誠心誠意
 - ③ 福井県 ⑦ 囲碁、釣り
 - ④ 相模原市南区 ⑧ 262 言葉の魅力・魔力を味わおう

国旗を掲げよう！

小学生の時、全校生徒が大きな声で、「白地に赤く日の丸染めてああ美しい日本の旗は」と歌った光景が思い浮かびます。

今から約半世紀前の、昭和39年10月1日国立競技場の紺碧の空に、その日章旗が翩翩と翻った。その時私は警察官になって3年目で警備に従事していた。

終戦後19年目に日本国が焼土の中から立ち上がり、民族の団結力と復興を全世界に示すことが出来た瞬間であった。日の丸がどれ程誇らしく眩しく見えたことか。ようやくにして国旗の本に一丸となる事が出来たのは、最高の歓喜であった。そして、来年8月、再び国立競技場に日章旗が全世界に向けて翻ることになった。誠に喜ばしいことである。

日の丸の起源は、神話の時代からのものと聞く。イギリスの歴史学者アーノルドトインビーは言っている。「国の歴史を振り返らない民族は滅びてしまう」と。平成11年に「国旗及び国歌に関する法律」が制定された。しかしどうでしょうか。祝祭日に国旗を掲げるご家庭はどれ程あるのでしょうか。寂しい限りではないでしょうか。オリンピックを盛り上げるために、大いに国旗を掲げ応援しようじゃありませんか。そして祝祭日に、会員の皆様が率先して国旗を掲揚し、「八王子市は国旗を大事にする町」だとの思いを抱いて貰いましょう。皆さん大いに頑張りましょう！



- 会員番号 145 杉田 信夫 (すぎた のぶお)
- ① 2017年3月 ⑤ 社会保険労務士・三多摩労働安全協会
 - ② 1948年 ⑥ ケ・セラ・セラ (なるようになる)
 - ③ 東京都 ⑦ 日向ぼっこ、釣り
 - ④ 八王子市檜原町 ⑧ 287 人間動物園

自己紹介

昭和23年3月11日生まれ。戦後のベビーブーム真っ最中に立川にて生まれました。近所に広場も多くあり、同世代の子供たちも多くすべて競争の時代でした。ですが私は平和主義で人と争うのが好きではありませんでした。

成績も運動も中庸の考えではないが小学校時代からずっと平均点で平和に過ごしてきました。人より先へ行くのも嫌だが遅れるのも好きではないというのは幼少からの性格かもしれません。そんな性格の所為か独立独歩で行ける社会保険労務士という仕事にずっぽりとハマリ、36歳からもう36年間続けております。

八王子プロバスでも目立たなくとも足を引っ張らないようにしていきたいと思っています。「相田みつを」が好きです。



会員番号 147

塚本 吉紀 (つかもと よしのり)

① 2018年6月

⑤ 都内二校とロンドン日本人学校校長 他

② 1938年

学校法人 八王子学園理事長 (現職)

③ 東京都

⑥ 一隅を照らす光たれ

③ 八王子市長房町

⑦ 陶芸、ゴルフ、庭仕事

⑧ 288 旅の面白さ！恐さ！

育てる

朝、戸を開けると、庭の花と植木の香りが漂ってくる。前日、庭仕事をした翌朝はより一層身体に浸り込んでくる。成果が出た美の世界に自己満足ではあるが素直に爽やかに浸ることができる。土、日、祝日が私の庭木等との接触の日なのである。よくしたもので、手入れを一年間しっかりとすると正直に成長し、その植木の美しさを最大限に表現してくれる。我が家を訪れる人の心までを掴み、花や植木の話を通じに入れ私を癒してくれる。

植木や草花の手入れは、子どもの身体への、心への栄養を与えることと同様と思い時間を労力を惜しまず注ぐ。いかに適時・適切に丁寧に関わるかを考え、しっかりと見て、関わっていく。さつきは花が終わればしっかりとお礼をしながら刈込。アジサイの花が終われば来年の花芽の位置を推定し期待を込め剪定を。さつきは7~8月から次年度の花芽をつける成長を、楽しみはここから始まる。道のりは長いが成長過程を楽しむ。まさに教育の道と同じである。しっかりと刈り込み、美的感覚を最大に発揮し丁寧に手入れをした庭仕事。その喜びは植木自身にもあろうかと言いつつも今日もはさみは動く。庭木は黙っているが誇らしく、自身をもって人の心を満たす準備を始める。関わった素人植木職人を喜ばせたく元気に今日も成長への道を確実に歩んでいく。



会員番号 148

深谷 正徳 (ふかや まさのり)

① 2018年6月

⑤ 愛知県下小中学校勤務。

② 1944年

公文教育研究会 (障害児の能力開発の研究)

③ 愛知県

⑥ 五事 (貌・言・視・聴・思) を正す

④ 八王子市暁町

⑦ 音楽 (クラシック) 鑑賞

冥福

母は90歳を過ぎて骨折し、数年間の入院生活の末に逝きました。入院するまでは、足は不自由でも、毎週のように私の運転でドライブを楽しんでいました。しかし、入院生活をしているうちに認知症になり、60年も70年も昔の母に戻っていくようでした。

ある日、いつもならば出された食事をきれいに食べるのに、半分ほど残していました。「食べたくないの？」とたずねると、「遊びに行っている子どもが、お腹をすかして帰ってくるので、これを食べさせる」というのです。この子どもというのは食べ物が多分になかった幼少時を過ごした私や兄のことだと思います。母の心はその頃に返っていたのでしょう。

「認知症の老人をかかえた家族の多くは“人間性を取り戻してほしい”と願っている」と専門医から聞いたことがあります。たしかに年老いた母には哀れな面もありましたが、この母の一言には崇高な響きがありました。

母の死後、私はしばらく落ち込みましたが、奈良・薬師寺の高田好胤師の「“冥福”とは子や孫に温かく思い出されることである」との言葉に出会い、すっかり立ち直ることができました。

冥福とは死者の幸せばかりか、自身の幸せにつながるものであることを知りました。



会員番号 149 堀 武彦 (ほり たけひこ)

- | | |
|------------|-------------|
| ① 2018年12月 | ⑤ 元八王子郵便局長 |
| ② 1944年 | ⑥ 意思あれば道あり |
| ③ 東京都 | ⑦ ゴルフ、盆栽いじり |
| ④ 八王子市大楽寺町 | ⑧ |

植木、盆栽いじり

退職後10年が経過し、又プロバスクラブに入会し早2年が経過しました。庭いじりは子どもの頃より父が庭いじりの趣味があり、父や植木屋さんの手入れを子どもの時よりそばで見、又いじって遊んでおりました。そんな環境の中、自然と興味を覚え、特に退職後は午前中庭に出て、大きい植木はプロに任せ、簡単な背の低いものの手入れをしております。メリットは運動不足の解消、お金がかからない、五感が刺激される等々の利点があります。そんな姿を出入りの植木屋よりアドバイスをもらい、高齢になったらハシゴに乗るのが危険で、座って出来る盆栽を私が教えてあげるからと勧められ、あつと言う間にそのおもしろさにはまり現在に至っております。

盆栽は鉢に植物を植え、植物の枝ぶり、葉姿、幹の肌、根、鉢あるいはその姿全体を観賞する、日本の伝統的な園芸であり、芸術ですが、アニメや漫画と並ぶ「クールジャパン」を象徴するBONSAIとして、世界中にファンがいるようです。現在、五葉松、黒松、赤松、松柏類を主に60鉢位を育てて午前中を主に暇つぶしにいじっております。



会員番号 150 間宮 敏明 (まみや としあき)

- | | |
|------------|---------------------|
| ① 2018年12月 | ⑤ (独)UR都市再生機構東日本支社長 |
| ② 1948年 | ⑥ 実事求是(じつじきゅうぜ) |
| ③ 福井県 | ⑦ 散策、古社古寺巡り |
| ④ 八王子市別所 | ⑧ |

史跡 古社 古寺巡り

コロナ禍で、遠出がままならない状況で、自宅から2時間程度の徒歩圏にある史跡、古社(鎮守)古寺巡りを日常として、運動不足の解消に努めております。

私の住まいは、アニメ映画「ぼんぼこ狸」の舞台となった多摩ニュータウンの、古くから由木地区と称された地域の中にあります。この地域には鎌倉時代からの由緒ある史跡等が多く、悠久の歴史を感じながら歩き回っています。その多くの中から、いくつかを紹介させていただきます。

◎由木城址＝鎌倉、室町時代の創建。城主、大石定久(木曾義仲の後裔、後に武蔵滝山城主)主君、上杉憲政一北条氏康。 ◎永林寺(曹洞宗)＝由木城の跡地に天文元年(室町時代)に創建後陽成天皇より勅願時の論旨を受けた名利。 ◎北八幡神社＝元亀年間(室町時代)大石宗虎(大石定久の弟)が再興。御祭神 菅田別尊(15代応神天皇)源氏の守護神鎌倉八幡宮の御神霊を分祀奉斎。徳川家康より社領の御朱印状を拝領。 ◎日枝神社(八王子市別所)＝江戸時代には山王寺と言われ、元禄8年の棟札がある。御祭神、国常立尊(くにとこたちのみこと・国土生成の中心的な神)。総本社滋賀県大津市の日吉大社より勧請。 ◎御嶽神社＝天文2年(室町時代)滝山城主大石遠江守が創建。御祭神 日本武尊 中筒男命。



会員番号 151 鈴木 均 (すずき ひとし)

- | | |
|------------|---------------------|
| ① 2018年12月 | ⑤ (株)東京エネシス常務取締役 |
| ② 1949年 | ⑥ 誰が正しいかではなく、何が正しいか |
| ③ 東京都 | ⑦ 器楽演奏、写真、旅 |
| ④ 八王子市檜原町 | ⑧ |

～随筆～ 『命を紡ぐとは／千思万考』

コロナ禍中（令和2年7月）に母の「23回忌法要」を営んだ。当初は家内と2人で菩提寺に行く予定だった。外出自粛に飽きた子の家族や姉夫婦が俄かに参列を希望。三密回避を理由に人数を制限し無事済ませた。母は大正七年生まれ。第一次世界大戦の最中で米国が欧州戦線に参戦、原因不明のインフルエンザが大流行し、後に「スペイン風邪」と称された感染症は当時、世界の人口約18億人のうち6億人が感染、死者は4,000万～1億人といわれ、第一次世界大戦を終戦に追い込んだ。「感染症」は日本でも台湾に巡業中の力士が感染、3名死亡「力士病」と呼ばれ、横須賀の軍港では約250名の兵士が集団感染し「軍隊病」とも呼ばれた。当時、人口約5,700万人の日本では約2,357万人が感染し、死者は39万人（一説には45万人）とか。この感染症に生後間もない母が感染し亡くなっていたら「24名の子孫はこの世にはいない」と法事で披露。この様に回忌法要は故人を供養するのみならず、故人の生前を偲びつつ「命を紡ぐ」意義を熟思する機会を得る。紡ぐとは往時の世相を調べ往事に思いを馳せることかもしれない。賢者曰く「人には忘れてはならない歴史がある」から。



会員番号 152 寺山 政秀 (てらやま まさひで)

- | | |
|-----------|--------------------|
| ① 2019年5月 | ⑤ 穎明館校長（現職） |
| ② 1950年 | ⑥ 我以外、皆我師 |
| ③ 千葉県 | ⑦ 旅行、読書 |
| ④ 八王子市台町 | ⑧ 285 プロバスクラブに入会して |

キャベツの村へ

かつて孀恋村を訪問したことがある。軽井沢を抜けて北軽井沢へ。北軽井沢には北軽井沢駅舎が文化財として保存してある。かつての草軽鉄道の駅である。この北軽井沢が呼称ではなくて、地名であることを知る。軽井沢は長野県であるが、北軽井沢は群馬県である。そして、この駅舎の近くに大学村と言う別荘地がある。昭和3年に開かれたと言う。岩波茂雄、野上弥生子、三木清、芥川也寸志、岸田今日子、大江健三郎、などの別荘があったと聞く。

ここから一路、孀恋村へ。つまごいパノラマラインを走る。ここは夏の冷涼な気候を活かした高原キャベツの栽培が盛んである。夏秋キャベツの生産量は日本一と聞く。浅間山のふもとに、どこまでも、どこまでも続くキャベツ畑、壮大な景色が目の前に広がる。感動の一瞬である。途中、小さな小屋でキャベツを売っていた。デビ夫人も来たと言う。もぎたてのキャベツを買う。また、もぎたてのトウモロコシを試食した。その甘さが口に残る。ここは天明3年の浅間山の噴火によって大被害を受けた所でもある。鎌原の観音堂が有名である。感無量である。その後、村役場や観光案内所を訪問。コロナ禍の夏、あの壮大な景色を思い出す。



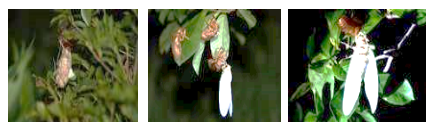
会員番号 153 土屋 三千代 (つちや みちよ)

- | | |
|-----------|---------------------------|
| ① 2019年5月 | ⑤ 取締役秘書 |
| ② 1944年 | ⑥ 昨日から学び、今日を生き、明日へ期待しよう！！ |
| ③ 京都府 | ⑦ テニス、旅行、音楽、絵画、映画鑑賞 |
| ④ 八王子市横川町 | ⑧ 286 元八王子北条氏照祭 |

この夏に寄せて

2020年2月頃より新型コロナウイルス感染症が日本に上陸して、まさかの緊急事態宣言を受けて日常の生活が一変。外出時はマスク着用、手指アルコール消毒となり、特に高齢者は3密を避け、外出もままならない生活の毎日となりました。

そんな中、毎年恒例の家の近くの緑地公園での夜の散策での「からすうりの花」観賞をご近所さん何人かと懐中電灯片手に花探しをしました。「からすうりの実」とは大違いの繊細なレース編みの様な可憐な花を見つけて、夏の夜を楽しんだ帰り道にこぶしの木の枝の葉のところにしがみついたセミの羽化を見つけました。殻から脱皮して白い体を少しずつ出して、羽を広げながら段々大きくなってきました。幼い頃に見たことが有りましたが最近では抜け殻は庭にも沢山見かけていましたがこんな情景を久々に見て、興奮と癒しの時間を持てました。翌朝に見に行きましたが残念ながら殻だけが葉にぶら下がっていました。きっと大空へ羽ばたいて大声で鳴き声をみんなに聞かせてくれていることでしょう。



会員番号 154 山野 稔 (やまの みのる)

- | | |
|-----------|--|
| ① 2019年7月 | ⑤ メルアソシエイツ(元住友商事シカゴ&ブリュッセル、セントルイス) |
| ② 1946年 | ⑥ 2P (Patience & Persistence) |
| ③ 三重県 | ⑦ MLB見物、美術館巡り、旅行、ゴルフ |
| ④ 日野市落川 | ⑧ 293, 297 ボビーの思い出 (My name is Bobby.) |

ハグのできる日

この7年間気儘に一人暮らしをしてきた。仕事の都合で其々別の国(米仏 UAE)に住む子供達3家族を毎年孫目当ての巡回訪問をしてきたが、今年はコロナ騒ぎでどの国にも行けない。そんな私を含む4家族の通信手段はスマホ。Line グループを作りメール・写真・動画を交換しているが、最近はこちらに Zoom のオンライン会議が新しく加わった。偶には「家族13人全員集合」のオンライン会議を行い各家族がパソコンの前に集まり話し合う。全員の元気そうな顔が一つの画面に同時に映るのは嬉しい。これもインターネットのお陰だ。各家族の孫達はいずれも真ん中の席に座わり、親のアドバイスも受けながらスピーカー役をする。先日は孫6人と私の7人だけの新企画「ジージとのスペシャルトーク」を初めて開催したが、最後に全員が「パブリカ」を歌ってくれてパワーをもらった。生後8カ月の依麻ちゃん(米)も参加してアーウーと喋っていたが、私はまだ彼女にはオンライン会議やライン動画でしか会えていない。安心安全なワクチンが開発されたら往来も可能になるだろう。ハグのできる日が待ち遠しい。



会員番号 155 丸山 恭 (まるやま やすし)

① 2020年4月

⑤ 奈良地方検察庁

② 1949年

⑥ 清明心

③ 愛知県

⑦ プロ野球観戦、大相撲観戦、旅行、読書

④ 八王子市元八王子町

⑧

プロバスクラブとの出会い

令和元年11月に職を辞し、弁護士登録はせずに今後を過ごすことにいたしました。可能な限りプロ野球や大相撲の観戦に行こう、旅行に行こうと考えていただけで、新たに何かをしようと考えていたことはありませんでした。

そのようなとき、縁あって高取和郎さんから東京八王子プロバスクラブに入会のお誘いがあり、その後、杉山さんからプロバスクラブの活動内容を説明していただき入会しようと決めました。そして、お二人の紹介により、令和2年4月に東京八王子プロバスクラブに入会いたしました。

今後は、親睦・学び・遊び・奉仕を通して豊かなクラブライフを楽しもうと考えております。今はその手始めとしてスマホにプロバス賛歌（歌唱いり、カラオケ）を入れ、時々この大変素晴らしい歌を楽しんでおります。

IV. 会則・運営細則・入退会等手続きに関する細則

[東京八王子プロバスクラブ会則]

(名称)

第1条 東京八王子プロバスクラブと称する。

(地域)

第2条 八王子市及びその近隣地域とする。

(事務局)

第3条 八王子市内の会長の指定する場所、あるいは理事会で決定した場所。

(目的)

第4条 知り合いを広め、豊かな人生経験を生かして、地域社会に奉仕する。

(会の原則)

第5条 非政治的、非宗教的、非営利的の3原則とする。

(会員資格)

第6条 (1) 専門職業及び実業に従事し、指導的立場にあった方、並びにそれに準ずる方。
(2) 原則として60歳以上。

(会費等)

第7条 月額2,000円とし、入会金として別に10,000円を納付する。
例会参加時に1,000円を収める(11・1・6月例会を除く)。

(例会)

第8条 毎月1回、原則として第2週の木曜日午後0時30分より午後2時30分までとする。

(役員)

第9条 本会は、総会において理事11名および、会計監査2名を選出する。
会長1名、副会長1名、幹事1名は理事の中から互選する。副幹事、交流担当、運営細則に基づく委員長、「宇宙の学校」プロジェクトリーダーは会長が指名する。

(役員の任期)

第10条 1年とし、毎年7月1日に始まり、翌年の6月30日に終わる。ただし補充された役員の任期は、前任者の残存期間とする。

(理事会)

第11条 理事会は総会に提出すべき議案を決定し、常務を執行する。

(総会)

第12条 本会は、年1回7月に定期総会を開催すると共に必要に応じ臨時総会を開催し本会運営の重要事項をはかる。

(入会と退会)

第13条 入会は、会員もしくは八王子ロータリアンの推薦を必要とし、退会は自由とする。

(解散)

第14条 本会を解散しようとするときは、出席会員の3/4以上の決議を要する。

(会計年度)

第15条 本会の会計年度は、毎年7月1日に始まり翌年6月30日をもって終わる。

(慶弔)

- 第16条 (1) 会員死亡の場合、香典 10,000 円または供花等 (時価)を行なう。
(2) 慶事及び前号以外の場合については、その都度理事会において審議決定する。
(3) 上記いずれの場合についてもお返しは不要とする。

(その他)

- 第17条 (1) 会員は、東京八王子南ロータリークラブの例会に出席することができる。例会費はロータリークラブ会員と同額とする。
(2) 本会の例会に東京八王子南ロータリークラブの会員が出席することができる。

制定並びに改定経過

制定 1996・06・29
改定 1999・08・19
改定 2007・06・14
改定 2009・06・11
改定 2009・12・10
改定 2014・05・08
改定 2018・09・13

[東京八王子プロバスクラブ運営細則]

プロバスクラブの円滑な運営を図るために次のような細則を定める。

- 第1条 この会に次の委員会を置く。
1. 例会委員会 2. 情報委員会 3. 会員委員会 4. 研修委員会 5. 地域奉仕委員会
- 第2条 会員は理事会の決定に基づき、これらの委員会または「宇宙の学校」プロジェクトのいずれかに所属し任務を分担する。ただし会長が承認する役職者はこの限りではない。
- 第3条 委員会に、委員長1名をおき、副委員長は委員長が指名する。
- 第4条 例会委員会は、例会運営のための準備、例会の進行及び出席の確認等を担当する。
- 第5条 情報委員会は、会員に対し例会の内容、行事の案内ほか、会員として必要な情報、を収集し伝達するほか、本会の活動を紹介するホームページを担当する。
- 第6条 会員委員会は新会員の募集、資格の審査等を担当し、会員の増強を計画する。
- 第7条 研修委員会は、知的ニーズの充足、趣味の習得等のプログラムを計画し運営する。
- 第8条 地域奉仕委員会は、地域社会に貢献する生涯学習計画を立案し、推進する。
- 第9条 会長は、必要に応じ、以下に定める特別な役職の会員を指名することができる。
(1) 本会の加盟する団体の役員
(2) 顧問
(3) 事務局長
(4) 「宇宙の学校」プロジェクトのリーダー等若干名

制定並びの改定経過

制定 1996・06・29
改定 1999・08・19
改定 2009・12・10
改定 2014・05・08

[東京八王子プロバスクラブ入退会等手続きに関する細則]

(入会)

- 第1条 (1) 会員となろうとする者を推薦するには、被推薦者の意思を確認のうえ、推薦書を会員委員会の委員長宛に提出する。
- (2) 会員委員長は、速やかに委員会を招集し、入会を承認するか否かを審議し、その結果を会長に報告する。会長はこれを理事会に報告して入会の可否を決定し、推薦者に結果を伝達する。入会を承認するときは、会員となろうとする者にも伝達する。
- (3) 急を要するときは、会員委員会及び理事会の決議を持ち回りその他の簡便な方法によること。

(休会)

- 第2条 会員は、所定の用紙により申し出を行い、理事会の承認を得る。なお休会期間中、その間の会費は月額3分の1とする。

(退会)

- 第3条 退会は自由とするが、所定の用紙により申し出るものとする。なお、6ヶ月以上会費未納の会員は退会したものとみなす。この場合退会手続きは、予め本人と推薦者の了解を得てから行うこととする。

制定並びに改定経過

制定 1997・12・04

改定 1999・01・07

改定 2002・06・12

改定 2009・12・10

[シンボルマーク制定の経緯とシンボルマークの色]

(シンボルマーク制定の経緯)

ロータリークラブには世界共通のマークがあるが、プロバスクラブにはまだない。一部のクラブで使われているPのマークは、過渡的な要素が強く、一般には理解されにくいので、ロータリークラブが提唱したという意義と、プロバスクラブの国際性をあわせ、一見して、直ぐ理解できるように、地球のデザインを基調としてロータリーの歯車を表わしたものを採用した。

(シンボルマークの色)

マークの色は三色とし、次のような意義を表わした。

紫紺 地球を表わした中心部にあり、宇宙の深遠さと人類の英知を意味している。

緑 地球環境を守る自然を表わし、自然と人類の調和、共存を意味し、同時に、人類相互間の平和、交流を求める意味を持つ。

茶 大地を表わし、脚下をしっかりと踏まえ、地球に根付いた奉仕を意味している。

茶
(プロバスの文字)



紫紺
(中心の地球部分)

緑
(下部の葉の部分)

創立 25 周年記念事業委員会 名簿

事業委員会

委員長 杉山 友一

事務局長 馬場 征彦

メンバー

相談役 濱野 幸雄、宮崎 浩平、矢島 一雄、吉田 信夫、土井 俊玄、永井 昌平

理事会代表 会長 田中 信昭

副会長 河合 和郎

幹事 持田 律三

実行委員会 全員

実行委員会

委員長 杉山 友一

副委員長 立川 富美代

委員 岩島 寛

同 武田 洋一郎

同 飯田 富美子

同・兼記念誌制作 内山 雅之

同・兼会計 一瀬 明

同・兼会計 浅川 文夫

監事 下山 邦夫

同 塚本 吉紀

事務局 馬場 征彦

東京八王子プロバスクラブ創立 25 周年記念誌

令和 2 年 12 月 1 日発行

発行者 東京八王子プロバスクラブ

〒192-0056 東京都八王子市追分町 9-3

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

編集者 25 周年記念事業実行委員会

編 集 有限会社 三共社

印 刷 〒192-0014 東京都八王子市中野上町 2-29-1

製 本 TEL 042-625-8325 FAX 042-625-8369

<http://www.san-p.co.jp>

E-mail:post@san-p.co.jp

編集後記

令和元年 7 月より、編集作業に入りました。印刷された 20 周年記念誌はありましたが、パソコンに入力された資料は見つかりませんでした。そこで、25 周年記念誌のたたき台を作成し、その内容をそれぞれの担当業務の責任者にお渡しして 25 周年記念誌に使用できるよう加筆修正を依頼しました。それ以外の諸データは新たに作成することになり入力作業に追われましたが、編集に着手した時期が早かったため順調に進みました。

今後、周年事業の記録を作成するためには必要となるデータを常に収集し、パソコンに入力して管理する必要性を痛感しました。

会員相互の親睦、地域奉仕活動、地域及び全国プロバス協議会との交流の諸原稿作成には多くの方々にご協力いただき感謝しております。また、写真撮影には写真同好会の皆様方に、会員紹介欄のエッセイ作成については会員各位に多大なご尽力をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。合せて、印刷に関してはカラー写真の色調整や印刷に関しご支援をいただいた三共社様に感謝申し上げます。

(記念誌制作担当 内山)